

高速道路建設・整備促進等に関する要望

第五十二回定期総会において、別記のとおり満場一致で決議いたしましたので、特段の措置を講ぜられるよう強く要望いたします。

全国高速自動車道市議会協議会 会長 久野 秀敏

(佐世保市議会議長)

決 議

高速道路をはじめとする高規格道路ネットワークは、全国を結ぶ物流体制の構築や広域周遊観光の促進に資するなど、我が国の経済発展に不可欠な大動脈としての機能を發揮している。

さらに、同ネットワークは、頻発・激甚化する大規模自然災害に対して、避難や救急救命・復旧活動等を支えているほか、三次医療圏などの広域救急搬送のための「命の道」として重要な役割を担っている。

しかしながら、整備が大幅に遅れている区間は未だ多く残されており、令和六年能登半島地震では、未整備地域における救助活動・物資輸送に大きな障害となったことから、高規格道路ネットワークの整備は防災の観点からも早期に進めていくことが喫緊の課題となっている。

また、既存区間においては、暫定二車線の四車線化や老朽化対策、災害時の道路強靱化などが急務となっている。

よって、本協議会の総意をもって、特に次の事項について強く要望する。

記

- 一、ミッシングリンク解消のため、高規格道路ネットワークの早期整備を推進すること。
- 一、道路整備等を安定的に実施できるよう、建設資材高騰や労務費の上昇を踏まえた財源の確保に万全を期すこと。
- 一、暫定二車線区間においては、早期かつ着実に四車線化の実現を図ること。
- 一、防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策の迅速な事業推進を図るとともに、第一次国土強靱化実施中期計画に基づき、災害に強い道路ネットワークの構築を推進すること。
- 一、地震や豪雨、豪雪などの災害時でも交通機能を維持できるよう、高速道路の一層の危機管理強化を図ること。また、高速道路を津波や洪水時の緊急避難場所として活用する取組の推進を図ること。
- 一、老朽化が進む高速道路の安全・安心のため、予防保全へ十分な財源を確保するとともに、維持管理・更新に関する新技術の開発・導入について一層の支援を図ること。
- 一、高速道路の建設時における陥没事故や、大型車両による重大事故など、あらゆる事故防止対策に万全を期すこと。
- 一、高速道路の機能向上と利便性の拡大を図るため、インターチェンジの整備促進、サービスエリア・パーキングエリアへのEV充電施設や水素ステーションの整備などの推進を図ること。
- 一、トラックドライバーの負担軽減を図るため、大型車駐車マスへの普通車の駐車や、休憩以外の長時間駐車に対して適切な措置を講じること。
- 一、観光をはじめとした地域経済の活性化につなげるため、高速道路周遊パスの取組を推進すること。

以上、決議する。

令和八年二月六日